

長生稲作情報 第4報

(令和8年6月26日発行)

長生農業事務所 改良普及課

担当：黒住、高内、河田

電話 0475-22-1771

◎長生地域の生育状況

6月7日の梅雨入り後、日照時間については6月第3、4半旬において平年より多くなりましたが、気温は過去10年の平均より低く、降水量も多いことから、生育スピードは鈍化しています。幼穂形成期は例年並みで、4月20日定植はいずれの品種も幼穂形成し、穂肥の時期になっています。茎数は、ジャンボタニシの食害を受けたほ場ではかなり回復し、食害を受けていないほ場についてはやや多い状況です。4月20日定植の「ふさおとめ」の出穂予測は7月8日です。気象庁発表の2週間予報では、今後も平年並みの気温が予想されておりますが、高温が続いた場合は出穂は早まる可能性があります。

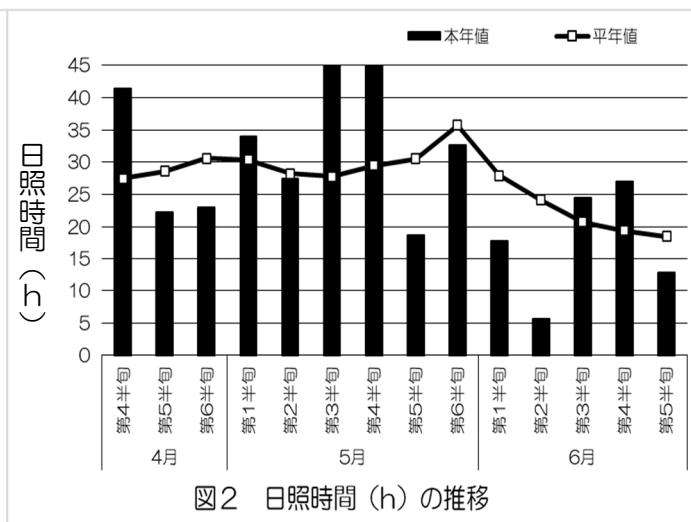
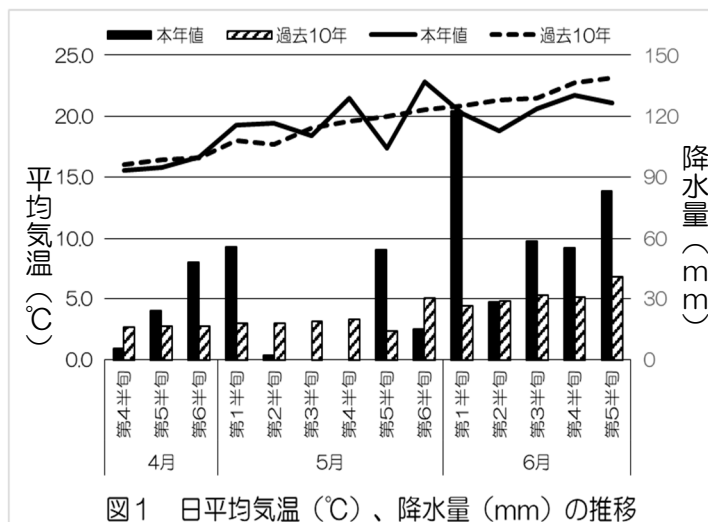
◎今後の生育管理について

幼穂形成期から出穂期後2週間までは水が特に必要な時期のため、湛水状態（ひたひた程度に水がある状態）を維持してください。出穂後2週間以降は、間断灌漑（田面全体に行きわたる程度の浅水管理とし、長期間湛水しないように3日湛水4日落水）を行い、登熟期間後半の根の活力を維持し、登熟向上を目指します。落水は出穂期後25日からとします。

また、今年も7・8月の気温が高くなると予想されています。高温登熟障害の対策として、登熟期間の葉色を濃く保つことが有効であるため、葉色が淡いほ場では、出穂期前7～5日（穂ばらみ期）に10a当たり窒素成分量で1kgを上限に追肥を行いましょう。

病害については、県の病虫害発生予報（第3報、6月15日発表）では、「いもち病」は並、「紋枯病」はやや多となっています。下位葉に「いもち病」の発生が見られるほ場がありますので、ほ場をよく確認し、必要に応じて防除してください。

斑点米カメムシ類については、出穂後に適切なタイミングで防除を実施する必要があります。各市町村で航空防除が実施されますが、航空防除を行わないほ場、周囲より出穂が早いほ場、多数の発生を確認したほ場などでは、適切なタイミングで防除してください。



※気温の平年値は過去10年間、日照時間の平年値は1991年から2020年の30年間。

◎長生地域の出穂期の予測について

出穂期とは、出穂する稈のうち、約 50%が出穂した時点のことです。出穂期を知ること、斑点米カメムシ類防除や収穫期のタイミングを予測することができます。出穂期から収穫期までの登熟期間の目安は各品種で異なります（表1 参照）。

なお、本予測は今後の天候状況等により誤差が生じる可能性があるため、あくまで目安としてください。昨年と比べて2～5日程度遅くなる見込みです。

表1 長生地域の出穂期の予測と各品種の登熟期間の目安（6月26日時点）

品種	移植日					出穂期から 収穫期の目安
	4月15日	4月20日	4月25日	5月1日	5月5日	
ふさおとめ	7月6日	7月8日	7月11日	7月13日	7月16日	33日前後
ふさこがね	7月7日	7月9日	7月12日	7月15日	7月18日	37日前後
コシヒカリ	7月15日	7月17日	7月19日	7月22日	7月25日	38日前後
粒すけ	7月13日	7月16日	7月19日	7月22日	7月25日	38日前後

※水稻生育予測システム「でるたTM」（茂原アメダス）による推定値。

※本予測が最新時点のため、別添県版の予測日とは一部異なる。

◎コシヒカリの倒伏対策について

コシヒカリの幼穂形成期時点において、草丈が70 cm以上で葉色が濃い場合は、倒伏が懸念されます。その場合は、穂肥の減肥や倒伏軽減剤（ロミカ粒剤）の施用を検討します。倒伏軽減剤は上位節間の伸びを抑えることにより倒伏を軽減します。出穂25～10日前までに（4月20日定植のコシヒカリの場合、出穂予測日が7月17日なので、7月7日までに）2～3kg/10aを湛水散布します。

◎斑点米カメムシ類（特にイネカメムシ）について

斑点米カメムシ類は、水稻の出穂時頃から水田に侵入し、穂を吸汁して斑点米や不稔などの被害を発生させます。長生管内で発生が多いのは、「クモヘリカメムシ」や「イネカメムシ」です。

近年問題となっている「イネカメムシ」は、地域で特別に出穂の早いほ場（地域で早く移植した「ふさおとめ」や「アキヒカリ」のほ場）を集中加害し、不稔を多発生させることがあります。

イネカメムシ対策には、適期に2回（1回目は出穂期、2回目は出穂期の15日後）の薬剤散布が効果的です。イネカメムシに安定した効果が見込める薬剤は、「キラップフロアブル」（有効成分エチプロール）や「スタークル液剤10」（有効成分「ジノテフラン」）などがあります。



（写真）クモヘリカメムシ成虫（左）イネカメムシ成虫（右）

※令和5年度千葉県病害虫発生予察注意報第1号より